

崎山っ子の心を見つめる教育週間

令和元年6月23日～29日

さつぎやま魂

崎山中学校より
7月9日 第6号
文責 校長 山下



令和元年六月二十三日(日)から二十九日(土)まで、令和元年度の心を見つめる教育週間が行われました。学校公開初日の校長講話では、「寒さにふるえたもののほど、太陽のあたたかさを感じる。人生の悩みをくぐったものほど、命の尊さを感じる。」という詩を紹介し、悩むことは幸せを知るいい経験になること。また、「ありがとう」の意味を考え、当たり前だと思っていることに感謝をしようということをお話しました。

二十九日(土)には、今年度の初の試みとして、保護者ももちろん、地域の方が来校しやすいように土曜授業として実施しました。

この日は、各学級で道徳の授業を公開しました。一年生は、「僅か7歳でこの世を去った力ズ君への家族愛」、二年生は、「自分が生まれてきたことと家族の思い」、三年生は、「赤ちゃんポスト」を題材にして、生命の尊さについて考えました。どの学年の子どもたちも、真剣に学習に取り組み、一生懸命に自分の考えを発表していました。

三年生の親子料理教室、午後からの親子球技大会では、和氣藹々とした雰囲気の中、生徒・保護者・教職員の親睦を図ることができました。

教育週間中は、上・下・長手の各総代さんをはじめ、多くの地域の方に来校していただきました。ありがとうございました。今後ともよろしく願います。



五島市社明弁論大会

優秀賞受賞



七月六日、「五島市社会を明るくする運動」が行われ、大会が行われ、崎中代表の藤尾依千乃さんが、「夢への第一歩」という題で堂々と発表し、一年生ながら、見事優秀賞を受賞しました。劇団四季の役者という将来の夢の現に向けての強い思いを一杯発表してくれました。



大変お世話になりました



七月二日から四日、二年生は職場体験、四日は一年生が農業体験、三年生がインタビュースタディーズを実施しました。特に、二年生は、実際の体験を通して、将来の崎山、あるいは自分自身について考えるよいきっかけになったと思います。十年後あるいは二十年後の自分はどうなっているのでしょうか。楽しみです。



農業・職場体験及びインタビュースタディーズ活動

アメリカとの遠隔授業実施

英語でコミュニケーション

七月一日、英語の授業(峯教諭)で、スカイプと使って遠隔授業を行いました。お相手は、カレン先生のお友達で、アメリカジョージア州在住のレイチェルさんです。子どもたちは、一人ずつ、全て英語で、五島のことを紹介したり、お互いに質問をし合ったりしました。中には、共通の話で盛り上がるなど、有意義な活動となりました。



【夏休みの思い出】
小・中学生の頃、毎年夏休みが楽しみだった。「あれもしたい、これもしたい。」と計画を立て、日課表を作り、いざ実践。ところが、なかなか実践が伴わない。あっといっ間に夏休みが終わった。大人になった今、ストレス解消の一つに楽しみな計画を立てることをしている。「〇月〇日〇旅行。映画鑑賞にプロ野球観戦。」計画はばっちりだ。ホテルも予約した。よしあとは出発だけ。ところが、直前になってキャンセル。この繰り返しだ。やはり、実践しないとストレス解消にならないことを痛感。今年こそは計画・実践だ。